

2023.11.1



山武市
SAMMU

さ

ん

む

議会だより **No. 70**



年齢問わず、いろいろなスポーツを楽しみました(10月8日・成東総合運動公園)

今月の
表紙

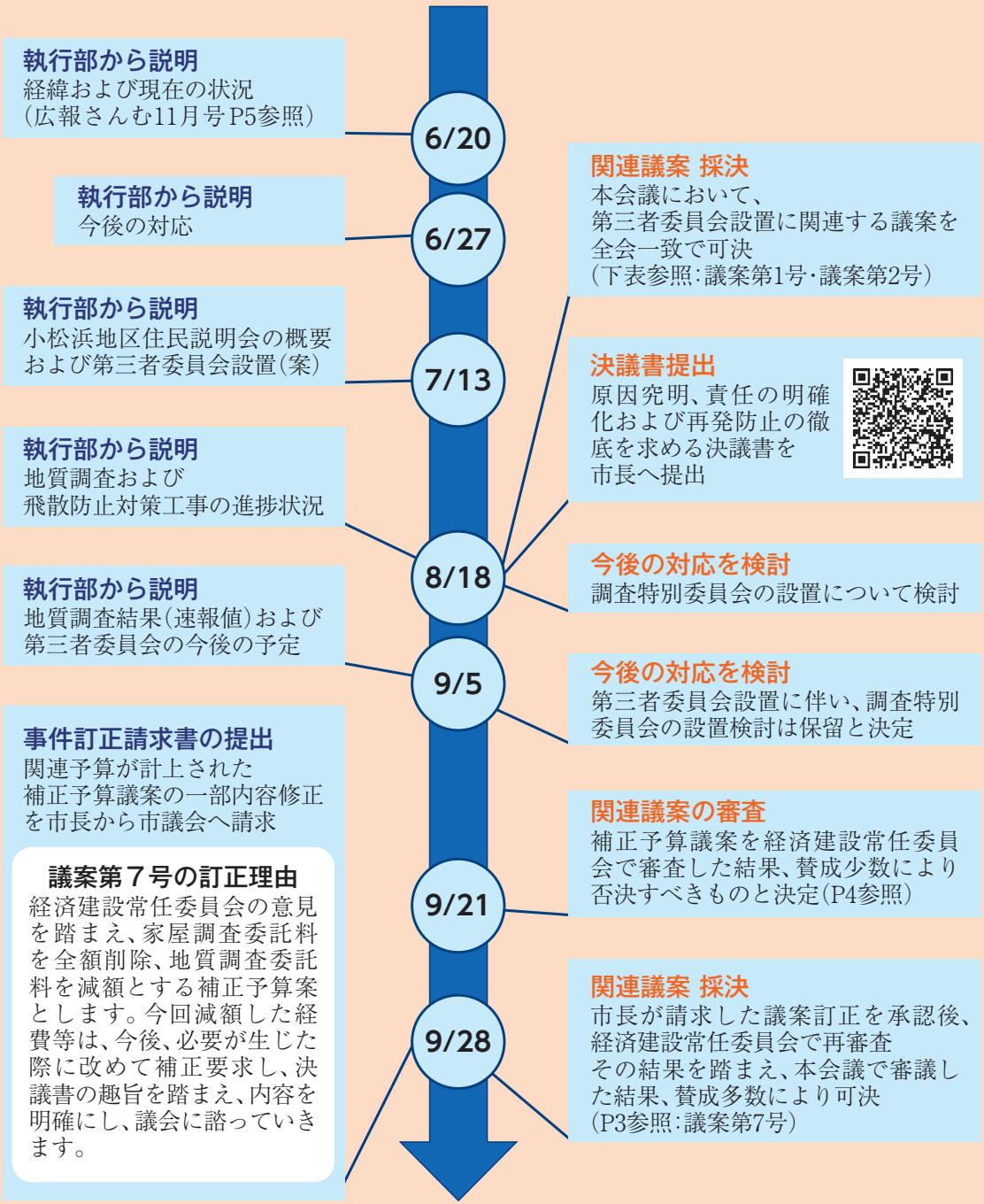
エンジョイスポーツ in 山武2023

- 小松地先市有地の土砂搬入事案に関する市議会の対応 …… p2
- 審議結果一覧(第4回臨時会・第3回定例会) …… p2~3
- 常任委員会審査報告 …… p4
- 一般質問(第3回定例会) …… p5~15
- 台風13号接近に伴う大雨被害、議員の寄附は禁止 …… p16



山武市マスコットキャラクター
SUN ムシくん

小松地先市有地の土砂搬入事案



令和5年第4回臨時会 審議結果一覧

第4回臨時会が、8月18日に開かれました。市長からは議案2件および報告1件、議員からは発議案1件の提出があり、採決の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

議案等	新 政 会	S a m m u 新 し い 風	さん む 21	公 明 党	日 本 共 産 党														
議案第1号	櫻田基介	小川善郎	北田守聰	渡邊 聡	杉山 清	鈴木健太郎	小川一馬	玉置美津恵	池田和典	今田和弘	石川和久	萩原善一	渡邊健一	深沢 誠	市川陽子	長谷部電作	並木幹男		
議案第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第1号	報告	専決処分報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)																報告のみ(採決なし)	
発議案第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【○】賛成・【×】反対・【-】北田守議長は採決に加わりません

令和5年第3回定例会 審議結果一覧

第3回定例会が、9月5日から28日まで24日間の会期で開かれました。

市長から議案18件および報告8件の提出があり、採決の結果、議案11件はそれぞれ原案のとおり可決されました。

また、各会計決算認定についての議案7件は、決算審査特別委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

議案等	議員名	新 政 会				S 新 しい 風		さん む 21		公 明 党		日 本 共 産 党					
		櫻田基介	小川善郎	北田守	渡邊聰	杉山清	鈴木健太郎	小川一馬	玉置美津恵	池田和典	今川和弘	石川和久	萩原善和	渡邊健一	深沢誠	市川陽子	長谷部竜作
議案第1号	可決	山武市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について 山武市子ども医療費の助成に関する規則の全部改正等に伴い、条例の一部を改正するもの															
議案第2号	可決	山武市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの															
議案第3号	可決	山武市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 山武市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止に伴い、条例の一部を改正するもの															
議案第4号	可決	山武市重度心身障害者の医療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について 山武市子ども医療費の助成に関する規則の全部改正に伴い、条例の一部を改正するもの															
議案第5号	可決	さんぶの森公園ふれあいセンター施設改修工事請負契約の締結について 地方自治法等の規定により、契約の締結について、議会の議決を求めるもの															
議案第6号	可決	地方独立行政法人さんむ医療センター第5期中期目標について 地方独立行政法人法の規定により、第5期中期目標を定めることについて、議会の議決を求めるもの															
議案第7号	可決	令和5年度山武市一般会計補正予算(第4号) 既定の歳入歳出予算額に1億3515万5000円を追加し、歳入歳出予算総額を237億7851万8000円にするもの															
議案第8号	可決	令和5年度山武市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 直営診療施設勘定の既定の歳入歳出予算額に6万5000円を追加し、歳入歳出予算総額を8006万5000円にするもの															
議案第9号	可決	令和5年度山武市介護保険特別会計補正予算(第1号) 既定の歳入歳出予算額に4852万円を追加し、歳入歳出予算総額を52億752万円にするもの															
議案第10号	可決	令和5年度山武市水道事業会計補正予算(第1号) 資本的支出の既定の予算額に526万7000円を追加し、総額を2億1926万7000円にするもの															
議案第11号	継続審査	令和4年度山武市一般会計歳入歳出決算の認定について															
議案第12号	継続審査	令和4年度山武市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について															
議案第13号	継続審査	令和4年度山武市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について															
議案第14号	継続審査	令和4年度山武市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について															
議案第15号	継続審査	令和4年度山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について															
議案第16号	継続審査	令和4年度山武市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について															
議案第17号	継続審査	令和4年度山武市水道事業会計決算の認定について															
議案第18号	可決	令和5年度山武市一般会計補正予算(第5号) 既定の歳入歳出予算額に5859万5000円を追加し、歳入歳出予算総額を238億3711万3000円にするもの															
報告第1号	報告	令和4年度山武市一般会計継続費精算報告書について															
報告第2号	報告	令和4年度山武市健全化判断比率報告書について															
報告第3号	報告	令和4年度山武市農業集落排水事業特別会計資金不足比率報告書について															
報告第4号	報告	令和4年度山武市水道事業会計資金不足比率報告書について															
報告第5号	報告	私債権の放棄について															
報告第6号	報告	地方独立行政法人さんむ医療センター令和4事業年度の業務実績に関する評価結果について															
報告第7号	報告	地方独立行政法人さんむ医療センター第4期中期目標期間の業務実績見込みに関する評価結果について															
報告第8号	報告	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)															

閉会中の継続審査

報告のみ(採決なし)

【○】賛成・【×】反対・【-】北田守議長は採決に加わりません



議案等審査報告

常任委員会

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されており、本会議で審査を付託された議案等について、それぞれ専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

委員会	審議結果	質疑要約
総務常任委員会 (9月19日開催)	【原案可決】 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第7号の一部	ふるさとさんむ応援寄附金について (議案第7号) 問 本年8月末現在の寄附額は約1500万円とのことだが、残りの約半年で予算額9800万円に到達見込みとする理由は。 答 これまでの推移等を過年度と比較し、本年12月のひと月の寄附額は、昨年のおよそ4400万円を見込んでいます。 また、通年型のほか、冬場にシーズンを迎えるいちご等、季節限定返礼品の人気の高い点も踏まえ、寄附見込額を積算しています。 収入印紙売りさばき収入について (議案第7号) 問 この補正内容は。 答 パスポート申請の際に必要な収入印紙代として543万円に、印紙を販売したことに対する販売所手数料として29万円を加えた、合計572万円の増額を見込むものです。 海外への渡航規制が緩和されたことに伴い、パスポート申請者が急増していることが要因と考えられます。
文教厚生常任委員会 (9月20日開催)	【原案可決】 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号の一部 議案第8号 議案第9号	成東中学校新校舎整備事業について (議案第7号) 問 今回補正計上しようとする「校舎改築に向けた基本構想策定業務」は、課題とされている成東駅北側の道路整備等の見通しが立ったあとで実施すべきと考えるが、市の見解は。 答 成東中学校は、老朽化が顕著であり早期改築の必要があること、計画から供用開始までに約6年近く要すること、工事期間中に入学し、完成を待たずに卒業する学年がないよう短期間でも新校舎で学ばせたいとの思いから、できるだけ一連の作業を前倒して実施したく、今回、補正要求するものです。 なお、当該業務の業者選定はプロポーザル方式とし、現在の成東中学校をベースに土地の活用等の提案を受け、その中から最も優れたプランをもとに改築に向けた具体的な検討を行う予定です。
経済建設常任委員会 (9月21日開催) (9月28日開催)	【原案可決】 議案第7号の一部 ^(※) 議案第10号 ※21日採決では原案否決。その後、議案訂正に伴い、再審査となった28日採決では、議案訂正後の原案可決。	小松地先市有地管理事業について (議案第7号) 問 今回補正計上しようとする「家屋調査委託料」および「地質調査委託料」の積算根拠は。 答 今後、土砂の搬出が可能となった際、その搬出作業の影響により近隣の家屋等に被害が及んだ場合には、補償等も予想されます。比較対象とする搬出前の家屋等状況把握のため、小松地先市有地に隣接する家屋6件分の調査費用として480万円を補正要求するものです。 答 地質調査の結果、調査を行った全24か所において水素イオン濃度が、市の条例で定める数値を上回ったため、重金属9項目の再検査を行う必要があり、その検査費用として約200万円を要することとなります。当該補正額を積算した本年8月中旬の時点では、この調査結果が出ておらず、再検査の項目数が未確定であったため、また、現在調査中の地下水水質調査の再検査も想定されるため、考え得る最大限の予算額720万円を補正要求するものです。

市政を問う!

9月定例会 一般質問

一般質問とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができ、質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など、多岐にわたります。

なお、議会だよりの一般質問に関するページは、質問した議員が自ら原稿を作成し、掲載しています。

※今回の9月定例会の会議録は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。(12月下旬発行予定)

議会議中継へ簡単アクセス

より気軽に視聴することができるよう、一般質問の掲載ページに、録画映像が視聴できるQRコードを添付しています。



スマートフォンやタブレットでご覧ください。

p6 代表質問 新政会 さくらだ もとすけ
櫻田 基介

- ①行財政改革について
- ②海岸地域の活性化について
- ③人口減少対策について
- ④スポーツ振興について
- ⑤外国籍の方との共生について
- ⑥山武市のPR活動について
- ⑦コロナ禍後の事業者支援について
- ⑧市税の徴収について
- ⑨ごみ処理施設の建設計画について

p7 関連質問 新政会 すぎやま きよし
杉山 清

代表質問に対する関連質問

関連質問 新政会 すず きけん たろう
鈴木健太郎

代表質問に対する関連質問

p8 代表質問 新しい風Sammu おがわ かずま
小川 一馬

- ①小松地先および日向の森市有地の建設残土搬入問題について
- ②新年度予算について
- ③観光施策について
- ④ふるさと納税について
- ⑤子育て世代および子ども支援について

p9 関連質問 新しい風Sammu こやま かずのり
小山 和典

代表質問に対する関連質問

関連質問 新しい風Sammu いけだ ひさかず
池田 久和

代表質問に対する関連質問

p10 関連質問 新しい風Sammu いまがわ かずひろ
今川 和弘

代表質問に対する関連質問

関連質問 新しい風Sammu たまおき みつえ
玉置美津恵

代表質問に対する関連質問

p11 代表質問 さんむ21 いしかわ かずひさ
石川 和久

- ①小松地先の市有地について
- ②道路行政について
- ③防災対策について
- ④教育行政について
- ⑤成田空港について
- ⑥松尾地域の過疎地域指定について
- ⑦圏央道とパーキングエリアについて

p12 関連質問 さんむ21 わたなべ けんいち
渡邊 健一

代表質問に対する関連質問

関連質問 さんむ21 はぎわら よしかず
萩原 善和

代表質問に対する関連質問

p13 代表質問 公明党 ふかざわ まこと
深沢 誠

- ①行政施策について
- ②保健福祉施策について
- ③教育施策について

p14 関連質問 公明党 いちかわ ようこ
市川 陽子

代表質問に対する関連質問

関連質問 公明党 はせ べりゅうさく
長谷部竜作

代表質問に対する関連質問

p15 個人質問 日本共産党 なみき みきお
並木 幹男

- ①住環境の整備について
- ②環境保全・ごみに関する施策について
- ③有害鳥獣被害対策について

※上記には、「一般質問通告書」の内容を記載しています。



新政会 櫻田基介 議員

行財政改革

問 人口減少や少子高齢化、昨今の物価高騰など、さまざまな社会問題により、財政状況は今後一層、厳しくなることが想定されますが、市長の見解を伺います。

答 市長 令和4年度山武市健全化判断比率報告書にて報告のとおり、本市の財政状況は健全な状態にあると言えます。しかし、社会保障にかかる扶助費や老朽化した公共施設の維持管理費など、経常的経費はさらに増加する見込みであり、毎年度の当初予算編成では、財政調整基金からの繰入れが避けられない状況です。本市が将来にわたり発展していくためには、持続可能な財政運営に向けた行財政改革が必要であると考えます。

問 改革を進めるには、行財政需要に対する適正な財政規模の把握が必要と考えますが、現在の一般会計の規模をどのようにつまえているのか伺います。

答 総務部長 適正な財政規模とは、歳出予算における一般財源の額が、市税など経常的に収入される一般財源の範囲内に収まり、財政調整基金を取り崩すことなく運営できる状態を指しますが、現状では不足が生じています。

具体的には、経常的に収入される本市の一般財源は約140億円(標準財政規模とほぼ同額)であり、これに国県支出金や市債等の特定財源を合わせた200億円程度の予算規模になることが想定されます。

しかし、合併特例債等の返済にかかる元利償還金が、毎年約20億円あり、当面の間は220億円程度がベースになると考えます。

問 市長が抜本的な行財政改革を公約に掲げ、1年が経過しました。今後の計画を含め、取組状況を伺います。

答 政策調整監 町村合併当初から継続している事業も多く、一度、すべての事務事業を見直す必要があると考えます。そこで、今年度、事務事業一件ごとに必要性や実施規模を点検し、全職員から見直しの提案を募っています。

また、本市は、旧町村時代からの公共施設が多く存在するため、来年度以降、事務事業同様の点検を行い、有識者等の意見も取り入れながら検討していく予定です。



海岸地域の活性化

問 本須賀海水浴場は、ブルーフラッグの認証取得や、美しいビーチのPR活動により効果が出ているようですが、取組状況を伺います。

答 産業振興部長 イベントでのチラシ配布やポスター掲示、SNS等による広報活動を行っており、併せて、テレビやラジオ放送による情報発信も行っています。

さらに、フィルムコミッション事業では、市内の各海岸においてCMやミュージックビデオ、映画の撮影、テレビ収録、写真撮影等、多数のメディアに活用いただいています。

問 海水浴場のさらなる安全対策について伺います。

答 産業振興部長 昨年の水難事故を踏まえ、海水浴場の開設期間終了後における注意喚起を強化しました。

また、新たな取組として、海岸監視業務を強化すべく、ドローンの導入を検討しています。

ごみ処理施設の建設計画

問 これまでに、東金市外三市町清掃組合から山武郡市環境衛生組合へ合併協議の申入れがあったとのことですが、当時の協議結果を伺います。

答 建設環境部長 両組合に確認したところ、東金市外三市町清掃組合から山武郡市環境衛生組合に対し、度重なる合併協議の申入れがありましたがいずれも山武郡市環境衛生組合では、地元理解のうえで成立している現状や新ごみ処理施設建設事業も進んでいることから、申入れを受けることは困難であると回答しているとのことです。

問 本年8月、4度目となる合併協議の申入れがあったことですが、構成団体である山武市は事前に把握していたのか伺います。

答 建設環境部長 事前の把握はありませんでした。東金市外三市町清掃組合へ経緯を確認したところ、正副管理者間における合意形成は図られておらず、また、組合議会への協議もままま発出されたとのことです。

なお、申入れの理由としては、同組合が進める新ごみ処理施設の建設事業費が高騰し、議会の理解が得られなくなったことから、建設事業を一時中断しており、そのような中、改めて山武郡市環境衛生組合への合併協議の申入れが行われたと聞いています。

問 今回の件に対する市長の見解と、山武郡市環境衛生組合が進める新施設建設計画への影響を伺います。

答 市長 先が見えていない合併を目指すより、確実に新ごみ処理機能を確保することが重要であり、新ごみ処理施設建設計画を白紙とってしまうことで、地域住民に不安を与えるわけにはいかないと考えます。



新市政会 山崎 清 議員

人口減少対策

問 一時預かり保育について伺います。

答 保健福祉部長 一時的に保育が必要な時、保護者の方のリフレッシュなど、家庭において保育ができない場合に、就学前の児童をお預かりする制度です。利用できる時間は、月曜日から土曜日までの午前9時から午後5時まで（祝日・年末年始を除く）であり、利用日の7日前までに予約が必要となります。

問 夜間や日曜日の利用時間拡充の予定はあるか伺います。

答 保健福祉部長 夜間等での保育士の配置が難しいことから、利用時間の変更は予定していません。

スポーツ振興

問 部活動の地域移行の現状と課題、今後の予定を伺います。

答 子ども教育課長 今年度は、市内で1部活動を地域と連携して活動でき

るよう進めています。指導者の確保や研修体制の構築、受け入れ可能な団体の確保などが課題となっています。

なお、今年度から一部の競技で、学校対抗にクラブチームの参加が可能となる等国県の動向を注視しながら本市に合った方法を検討していきます。

問 コロナ禍において補助金額が半減となった少年スポーツクラブに対する今後の助成の考えを伺います。

答 教育総務課長 各クラブの活動状況を踏まえ、検討していきます。

問 ロードレース大会や市民駅伝競走大会が休止になった経緯と再開を含めた今後の予定を伺います。

答 教育総務課長 ロードレース大会は、走路の安全や走路役員の確保が困難となったこと、参加者が減少傾向にあったこと等、総合的に判断しました。市民駅伝大会は、選手派遣が難しい地区が半数以上あり、今後の運営が厳しいことから休止しました。今後は、スポーツを始める機会の創出に重点を置き、スポーツを通じて地域コミュニティを育成することを観点に取り組んでいきます。

外国籍の方との共生

問 高校の進学を控えている外国籍の生徒に対する支援の取組を伺います。

答 子ども教育課長 高校進学説明会を開催し、願書の書き方や入試対策の個別指導等に取り組んでいます。



新市政会 鈴木 健太郎 議員

人口減少対策

問 人口減少対策として実施する制度を伺います。

答 総合政策部長 三世代家族の形成および本市への定住促進を図ることを目的として住宅取得等に係る費用を補助する制度、本市への移住および就業等を加速させるため、U・I・Jターンによる起業・就業者等創出事業などを行っています。

山武市のPR活動

問 本市の総合的な情報発信の考え方を伺います。

答 市長 本市が有する、さまざまな魅力や本市の重要施策等に関する情報を発信するにあたり、それぞれのターゲットに対して、特性に応じた媒体により、的確にその相手方に伝えていくことが重要であると考えています。

問 移住・定住誘致の取組やふるさと納税の推進には、市の認知度向上が必

要と考えますが、市の見解を伺います。

答 総合政策部長 移住・定住人口の増加やふるさと納税の寄附額の向上には、自治体の認知度も影響するため、現在使用しているSNS活用の際には動画や画像を積極的に活用し、視覚的にわかりやすく、明確に、情報発信をしていきたいと考えます。

コロナ禍後の事業者支援

問 コロナ禍の事業者支援のために実施された、いわゆる「ゼロゼロ融資」制度において、元金返済猶予期限の到来した市内事業者のうち、未だ資金繰りが回復していない事業者を対象に、市として伴走支援、側面支援を検討しているか伺います。

答 産業振興部長 ゼロゼロ融資の事業者から、資金繰り悪化等の相談があった際には、必要な助言等を行い、事業継続につながるよう、山武市商工会や金融機関等と連携し、必要な支援を行います。

市税の徴収

問 市税の収納率向上のため取り組んでいる滞納整理について伺います。

答 市民部長 当初の納期限までに市税を納めず、督促状を送しても、なお納付のない方に対し、文書や電話による催告および電話や窓口での納付相談を行います。なお、本年9月から、自動音声やショートメッセージサービスの電話催告システムを導入します。



新しい風Sammu 小川一馬 議員

小松地先および日向の森市有地の建設残土搬入問題

問 小松地先の土地が市有地となった経緯を伺います。

答 総務部長 平成26年2月、地域防災のための用地活用を視野に入れ、日本大学から無償で寄附を受け、市の所有地となりました。

問 市有地の埋立は、松下市長になつてからの計画であつたのか伺います。

答 市長 市有地内にある湿地部の悪臭対策としての埋立ては、私が市長に就任する前から行っていたと聞いていますが、このたびの土砂搬入は、令和4年3月に開始されましたので、私が市長になってからです。

問 作業現場には工事用看板もなく、作業員はヘルメットも着用していなかった等の声も聞きますが、市内に数多くの事業者がいる中、このような事業者を選定した理由を伺います。

答 建設環境部長 当該事業者から土砂提供の情報があつたこと、当時現場付近にて別の作業をしていたことから、そのまま重機を利用できる現場環境にあつたため、選定したと聞いております。

問 山武市全体を対象とした住民説明会の予定を伺います。

答 建設環境部長 現段階では、市民向けの具体的な説明会は考えていませんが、このたびの経緯や現在の対応については、市のホームページで随時お知らせしています。

問 住民の健康被害に関する調査を行う予定があるのか、また、治療費等補償の今後の対応について伺います。

答 建設環境部長 現時点では、健康被害や体調不良に関して、調査による把握はしていません。

答 市長 健康被害の補償については、今後必要に応じて検討していきます。

問 契約で想定した以上の大量の建設残土が搬入されたとの説明でしたが、事実であるのか伺います。

答 建設環境部長 市担当課における計画全般の甘さや知識不足、また、整地を行った事業者への指示等に関して当事者間で意思の疎通が図れていなかった可能性があります。

問 建設残土搬入における事業者との契約書の存在について伺います。

答 建設環境部長 建設残土搬入の

契約書はありません。工事委託の発注ではなく、搬入土砂敷きならしのための重機の賃貸借契約を取り交わし、対応しました。

問 市の残土条例を遵守すれば防ぐことができたとはいえず、市長や執行部の責任は重いのと思いますが、市長の見解を伺います。

答 市長 今回の問題は、行政の信頼を揺るがすことと重く受け止めております。大変申し訳ございません。

新年度予算について

問 文化財資料の調査に関する予算が不十分と思いますが、見解を伺います。

答 教育総務課長 これまでも市の文化財審議会の意見を伺いながら、予算計上しており、今後も同様に、必要な予算を計上し、事業を継続していきます。

問 市に出回る古文書などの購入に備えて、予算化が必要と考えますが、見解を伺います。

答 教育長 歴史的な価値が高く、必要と判断される資料については、購入を検討し、対応していきます。

問 九十九里漁業協同組合の発展を図るうえで、山武市と漁業と観光と地域住民が、相互利益の関係性でつながってほしいと思いますが、市の考えを伺います。

答 産業振興部長 漁業協同組合の皆さまと信頼関係を深めることは、大変重要であると認識しています。今後の発展の

ため、引き続き、意見を伺っていきます。

観光施策

問 蓮沼海浜公園再整備の今後のスケジュールを伺います。

答 都市整備課長 千葉県に確認したところ、今年度末までに再整備計画を作成する予定と聞いています。

問 飯岡一宮線バイパスの木戸川に架かる新しい橋の計画について、進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武土木事務所へ確認したところ、現在、測量調査を実施しているとのことでした。

ふるさと納税

問 近年の寄附額の推移を伺います。

答 総合政策部長 令和2年度の寄附の受入総額は2540万円、令和3年度は2455万円、令和4年度は4684万円と順調に推移しています。

学校給食の取り組み

問 地産地消の推進の観点から、学校給食における取組を伺います。

答 教育総務課長 お米はすべて市内産のコシヒカリを使用しており、今後、J・A山武郡市をはじめとする納入業者と連携を図りながら、市内産食材の活用を努めます。



議員 山本 和典 やまかずのり 新しい風Sammu

小松地先市有地の建設残土問題

問 日大跡地内湿地部からの異臭被害は、いつから、何件の住民から苦情があり、区長を通じた要望書があったのか伺います。

答 総務部長 要望書等の文書は残っていません。平成26年第3回定例会で一般質問がありましたので、この時期に口頭等で要望があったものと認識しています。

問 要望書がなかったのに、口頭の要望だけで事が進んで、なぜ、住民説明会が行われなかったのか伺います。

答 総務部長 要望に基づいた事業であるとの認識や、事業の規模や形態から、説明会を開催する必要がないと判断しました。

問 これだけ大きな5万5000立米という規模なのに説明会を開催する必要がないと判断したのは、市長だと思いますが、ここでは答弁は結構です。

令和4年3月から10月の間、何人の住民から、何回の苦情の電話が市役所に寄せられ、誰が対応したのか伺います。

答 建設環境部長 7名の方からのべ25回の苦情が寄せられ、土木課維持係にて対応しました。

問 令和5年第2回定例会で、市有地を活用した観光振興について一般質問した際、「令和3年第3回定例会で答弁したとおり、開発行為に際し、現状としては活用が困難な状況がわかっています。」と市長から答弁がありました。

令和3年9月の時点でわかっていたのに、私が観光協会として令和4年8月19日に市有地再利用の提案をした時に、なぜ言ってくれなかったのか、そして、その時すでに搬入されていた残土も隠していたのか伺います。

答 市長 令和4年8月に、市観光協会から提案をいただき、小松海岸地域の観光振興にも図れる、素晴らしいアイデアだと感じました。

また、当該土地に関して、建設工事等で発生した土砂を一時的にストックしているということで、今後の公共工事等に搬出し、再活用するものと認識していました。そして、市だけではなく、地域の観光協会、商工会の方々と一緒にやっていきたいと思ひ、発言しました。



議員 池田 久和 いけだ ひさかず 新しい風Sammu

小松地先の建設残土問題

問 最初に搬入した土砂の発生元を伺います。

答 建設環境部長 最初に搬入した土砂の発生元は、把握できていません。

問 業者への業務発注方法を伺います。

答 建設環境部長 令和4年2月に業者へ搬入を依頼し、同年3月から埋立てを開始しました。契約については入札ではなく、建設資材等単価契約による賃借料の随意契約となり、令和3年6月1日付けで締結しています。

この契約内容は、搬入および土砂の費用は支出せず、土砂の整地代のみを支出するものとなります。

問 土砂の発生元は確認したのか伺います。

答 建設環境部長 当時、書類で確認しただけで、発生元の確認はしていません。

問 どのタイミングで残土条例と照らし合わせ、環境保全課と協議したのか伺います。

答 建設環境部長 道路工事等に使用できる建設発生土との認識や残土条例に関する認識不足から、しっかりと環境保全課と協議を行ったのは、本年6月です。

問 この問題に対応するため、これまで費やした経費を伺います。

答 建設環境部長 地質や水質等の調査業務に737万円、土砂の飛散防止対策は3082万6666円となり、予備費で対応しました。

また、第三者委員会運営事務費として519万5000円を計上し、その合計は4339万1666円です。

問 今後は、どこまでを市が負担し、大切な予算を投入するのか伺います。

答 建設環境部長 地質調査の再検査や追加工事等に要する費用として、2365万円を今定例会の補正予算として計上しています。多くの税金が投入されることについて、大変申し訳なく思っています。

問 新聞やテレビにも取り上げられ、山武市誕生以来、最も大きな問題と考えますが、市長の見解を伺います。

答 市長 他の自治体よりも厳しい残土条例を設けながら発生したこの問題を、非常に重く受け止めています。



いまがわかずゆる
新しい風Sammu 今川和弘 議員

小松地先の建設残土問題

問 無償で提供された残土は、誰から、どこから、どれだけの量を当初予定していたのか伺います。

答 建設環境部長 土砂の無償提供について申し出のあった事業者から、地質分析結果証明書が添付された千葉県や東京都内からの土砂、約3万3000立方メートルの量の埋立てを予定しました。

問 予定した場所以外から搬入された残土があったのか伺います。

答 建設環境部長 地質分析結果証明書に明記された場所から搬入されたものと認識していますが、書類を確認したのみであり、他の場所から運ばれた土砂があるのか、現在は把握できていません。

問 無償とのことですが、搬入量から換算すると、搬入に要した燃料費だけでもかなり高額となります。これ

らの費用は、どう負担されているとお考えか伺います。

答 建設環境部長 推測ですが、土砂発生元が負担したと思われ、現在調査中です。今後、第三者委員会で確認されるものと考えます。

問 飛散防止措置は、土砂の表面に薬剤を散布し、砂ほこりを抑制するものですが、土砂の搬出が予定される中、今後、飛散防止の工事をどのように行っていくつもりか伺います。

答 建設環境部長 飛散防止剤の散布は、その効果やコスト面を考慮したうえで、施工方法であり、万が一、台風等で表面が剥離した場合は、補修を行っていきます。

今後、地質分析の結果や法令等に従い、また、第三者委員会の意見も踏まえて土砂を搬出したいと考えます。

問 当該土地は木戸浜地区に隣接しており、砂ほこり等の被害の声も聞きます。木戸浜地区に対して、住民説明会を行う予定はないのか伺います。

答 建設環境部長 現段階では、隣接する木戸浜地区への住民説明会などは予定していません。

このたびの経緯や現在の対応状況などは、市のホームページでお知らせしており、引き続き、情報を更新していきます。



たまおき むつえ
新しい風Sammu 玉置美津恵 議員

小松地先の建設残土問題

問 令和4年11月に、小松浜地区から日向の森へ、188万円の予算を使って約2000立方メートルの土砂が搬出され、その後の地質分析検査で、基準値を超えている土砂であることが判明しました。

なぜ検査前に残土条例の厳しい山武地域へ搬出したのか、また、なぜ保管場所を2箇所に分けたのか、その理由を伺います。

答 建設環境部長 搬出当時は、公共事業に使用できる問題のない土砂との認識があり、また小松浜地区の近隣住民から早期搬出の要望もありました。

問 事前説明もないまま、小松地先市有地へ残土が搬入され、残土搬入後の本年7月に、ようやく説明会が開催されました。搬出先の山武地域では、地下水を生活用水として使用していますが、事前に住民説明会を行ったのか

伺います。

答 市長 公共事業等に使用可能な土砂との判断から、住民説明会等は開催していません。

しかし、その後の地質調査結果において、水素イオン濃度が市の残土条例で定める基準値を超えることが判明したため、日向の森に隣接する区長等に対し、土砂搬入の経緯を含め説明を行っています。

問 日向の森地域では、約46%の家庭が井戸水を利用しているため、各家庭の水質検査を行なうべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 建設環境部長 地下水を生活用水として利用する場合は、健康被害を防ぐためにも、利用者ご自身による定期的な水質検査をお願いしています。

市においても、地区公民館等34か所の水質検査を定期的に行い、汚染状況を監視しているほか、浄水器の設置や水道への切替えを案内しています。

問 小松浜近隣住民からの苦情の声が届かず1年以上が経ち、また、日向の森へ土砂を搬入したことでその地域住民からも不安の声が出てくると思えますが、市長の考えを伺います。

答 市長 市民の声にしっかりと耳を傾け、丁寧に説明しながら、対応していきます。





小松地先市有地について

問 これまでに地質調査や飛散防止対策などに多くの費用がかかっており、貴重な税金が投入されています。

このことを市長はどのように考え、市民にどう説明されるのか伺います。

答 市長 本件に関しては、非常に重く受け止めています。

今後、第三者委員会において、事業の実態が把握され、事実関係の報告書が提出されることとなります。その内容をしっかりとし、適切な対応を図ることで、市民の皆様への説明責任を果たすよう努めていきます。

問 当該土地の埋立てについては、単価契約によって執行されたとの事ですが、契約の方法に問題はなかったのか伺います。

答 建設環境部長 発注時に総量が確定できず、その業務内容も、道路等の維持補修に必要な機材の借り上げ等に

ついて締結していた「建設資材等単価契約」により執行できるものと判断し、実施しました。

しかし、今回の事業内容や規模の大きさ等を鑑みれば、搬入する土砂の数量を明確にしたうえで、工事請負契約として執行することが適当だったのではないかと考えられます。

なお、今後の再発防止策としては、より適正な執行を図るよう、心がけていきたいと考えます。

県道成田成東線 早船バイパス整備

問 県道成田成東線の早船地先におけるバイパス整備の進捗状況と今後の見通しを伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武士木事務所へ確認したところ、県道と交差する場所には、木戸川から取水する農業用水路があり、現在、県道工事と水路工事の調整を行っています。また、道路用地を確保できた箇所については、工事に着手しており、早期完成に努めると聞いています。

問 市道柴原・木戸線柴原踏切から進んだ国道交差点の手前の道路は、S字形態のカーブとなっており、大変危険と思われますが、安全対策の計画はあるのか伺います。

答 建設環境部長 現時点で計画はありません。バイパス整備の協議内容

や道路の利用状況を踏まえ、地権者の理解が得られるよう進めていきます。

県道成東酒々井線の整備

問 山武成東インターチェンジから国道126号までの幹線道路として経済活動にも欠かせない、県道成東酒々井線は、一日も早い道路拡幅整備が必要と考えますが、拡幅等の要望は行われているか伺います。

答 建設環境部長 本年6月に千葉県山武士木事務所へ要望しています。都市計画道路成東南口線へつながる重要な交差点でありますので、県と連携しながら進めていきたいと考えます。

山武市地域防災力向上計画

問 本計画の概要を伺います。

答 総務部長 山武市地域防災力向上計画は、大きく3項目を主眼としており、1点目は、自主防災組織の新規設置と活性化です。現在の90組織から、令和7年度末までには105組織の設立を目指します。

また、令和7年度末までに、活動補助金活用団体については令和4年度の20組織から78組織へ活性化を図り、地域防災リーダーたる防災士については毎年5人ずつの計15人の防災士資格取得者の増加を目指します。

2点目は、避難行動要支援者のための個別避難計画作成です。自ら避難するこ

とが困難な方(要介護度3から5の高齢者や身体障害者手帳1級・2級所持者等)のうち、計画策定の優先度が高い方の計画の作成を、令和7年度末までに目指します。

3点目は、避難情報を確実に伝達するための戸別受信機の整備です。スマートフォン等を所有していない、または、取扱いに不自由を感じている方などに対し、携帯電話の電波を活用した戸別受信機を貸与します。

問 避難所運営委員会の現状と今後の取組を伺います。

答 総務部長 令和4年11月に、大富小学校区を対象とした「大富小学校避難所運営委員会」を設立しており、設立後は、大雨や台風による避難所の開設時、市の避難訓練などで実働されています。地域住民をよく知る方々で構成されていることから、避難行動要支援者の支援や避難所の運営等がスムーズに行われ、非常に有意義な組織であると感じています。

将来的には、小学校区で運営委員会が設立できればと考えているため、この運営委員会の活動をホームページや広報紙等を通じて紹介しながら、有効性について周知していきます。





成東総合運動公園

問 夜間利用時、テニスコート周辺はナイター用照明により明るく感じるものの、少し離れたテニスの壁打ち場やバスケットゴール付近、野球場側の駐車スペースはかなり暗く、施設利用時の利便性や防犯上、好ましくないと考えますが、市の見解を伺います。

答 教育総務課長 成東総合運動公園は、開園から21年が経過しており、施設の老朽化および照明の設置状況から全体的に照度が不足していると認識しています。

本施設を、現在改定中の都市公園長寿美化計画に含め、前述の照明が届きにくかった箇所にも安全な照度が確保できるよう、照明のLED化やその配置場所等に配慮し、計画的な照明設備更新を検討していきます。

問 同運動公園内に立入禁止となつている相撲の土俵施設があります

が、土俵として利用しない場合、他の活用方法も含め、見解を伺います。

答 教育総務課長 土俵の屋根の一部に腐食が確認されたことから、安全確保の観点で、現在は立入禁止としています。

有効利用については、屋根の修繕を行う必要があるため、安全確保が図られたうえで、調査研究していきます。

小中学校入学時における費用負担の軽減

問 小学校の入学準備には、多額の支出が伴うため、県外では、通学用のリュックサックを無償で配布している自治体もあるとのことですが、本市が行う小中学校入学時における費用負担軽減制度について伺います。

答 子ども教育課長 小中学校入学の際は、学用品の購入等が、各家庭の大きな負担となっていることを、教育委員会としても認識しており、各学校に費用負担の軽減に努めるよう指導しています。

また、経済的に困窮する家庭を対象とした就学援助制度があり、入学準備金や学用品、給食費等を援助しています。

なお、本制度の周知についても、就学時健診や入学説明会の場を利用し、入学前に行うよう努めています。



成田空港

問 成田空港内に従事する山武市民の人数を伺います。

答 総合政策部長 令和5年2月に実施した実態調査によると、成田空港内で従事する山武市民は478人です。前回調査時(平成29年)は630人でしたので、減少している状況です。

問 人口減少の歯止めの一歩となるべく、山武市から通勤可能な成田空港への就業者を増やすため、市で行っている取組を伺います。

答 総合政策部長 国際化に対応した人材輩出ができるよう、小学校では異文化理解授業を、中学校では英検集中講座や英検受験費用助成を行っています。さらに、例年実施している航空講話事業のほか、空港キャリア講座にかかると費用助成を検討しているところです。

現在、当該パーキングエリアの概略設計を行っている段階であり、要望事項については、実現可能であるかを含め、検討していくとの回答をいただいています。



松尾地域過疎地域指定後の対応

問 J R松尾駅南側改札口の設置に向けた進捗状況を伺います。

答 総合政策部長 IC専用改札等による簡易な改札を設置する方向で、J R東日本と協議を重ねており、今年度から改札設置に向けた計画策定のための基礎調査業務を行っています。

圏央道と

(仮称)山武パーキングエリア

問 令和3年に、(仮称)山武パーキングエリアを活用した地域振興策に関わる意見交換会が開催され、商工会や観光協会、JA山武郡市など、さまざまな業種の方から意見を伺ったと思いますが、その後の進捗状況を伺います。

答 総合政策部長 意見交換会での提案に配慮したうえで、大型車両等が十分駐車できる休憩スペースの確保、キッチンカーや地域産品の物販等を想定したイベント広場の設置、また、このような活動をより効果的に行うため、一般道から施設を利用するための進入路の設置などをNEXCO東日本に要望し、市長からは、ガソリンスタンド等の設置についても、直接要望しました。

現在、当該パーキングエリアの概略設計を行っている段階であり、要望事項については、実現可能であるかを含め、検討していくとの回答をいただいています。



狂犬病予防注射

問 今後、集合注射会場を拡大していく考えはあるか伺います。

答 建設環境部長 動物病院での注射ニーズも踏まえながら、利便性と合理性を念頭に、千葉県獣医師会山武支部と調整を図っていきます。

問 往診における狂犬病予防接種が可能な動物病院を情報提供するための体制づくり等、進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 山武保健所管内狂犬病予防連絡協議会が本年8月に開催され、当該情報提供について要望したところ、対応可能との回答をいただきましたので、千葉県獣医師会山武支部から情報提供を受け次第、ホームページ等でお知らせしていきます。

脱炭素先行地域応募

問 環境省が選定する脱炭素先行地域に、山武市が応募するも、残念ながら不採用であったと伺いました。今

後、再挑戦の考えはあるか伺います。

答 総合政策部長 第2回応募の際、環境省と意見交換をしましたが、本市においては、国の脱炭素先行地域以外の支援メニュー等を活用しながら、個々の施策を推進することが脱炭素実現への近道であると考え、現在のところ応募の予定はありません。

企業誘致

問 市が行う企業誘致の取組を伺います。

答 総合政策部長 企業立地奨励金等による支援策や、成田空港周辺9市町において成田空港に必要な物流施設等を整備する場合は農地を事業用地として選定することを可能とした規制緩和面での支援策、県と連携した企業誘致策についても、積極的に展開しています。

地下水の汚染対策

問 有害性が指摘される有機フッ素化合物について、地下水の検査を行うべきと考えますが、見解を伺います。

答 建設環境部長 現時点では、市独自に検査を行う考えはありませんが、国や県の動向および県内での検査結果を注視していきます。

公共施設

問 公共施設に対する再生可能エネルギーの導入について、今後の取組を伺います。

答 市長 国が示す数値目標などを踏まえながら、2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、公共施設の維持管理にかかる温室効果ガス排出量削減に、引き続き取り組んでいきます。

ヤングケアラー支援対策

問 現在までの取組状況を伺います。

答 子ども教育課長 本市では、昨年度にヤングケアラー支援実施要綱を制定し、市教育委員会や学校、警察、児童相談所、医療機関等で構成される要保護児童対策地域協議会を中心とした支援ネットワークを構築しました。

また、教育部と保健福祉部の連携によるトータルサポート会議を設置し、定期的に情報交換をしています。

保健師の確保

問 保健師確保の現状を伺います。

答 保健福祉部長 毎年度、数名の募集を行っていますが、会計年度任用職員の募集と併せて、予定した人数を確保できない状態が続いており、人材確保に苦慮しています。

学校での民主主義教育

問 本市の中学校における民主主義教育(対立を解決する力や対話力を磨くための教育)について伺います。

答 教育長 学級活動や生徒会活動では、クラスや学校全体の課題を見だし、解決するための合意形成を図った

り、意思決定をしたりするといった学習を行っています。

一人ひとりの意見を大事にするという民主主義の基本を、すべての教育活動を通して学ばせたいと考えます。

問 多数決によらず、みんなが納得できる最上位目標で合意を導くという指導法がありますが、教育長の考えを伺います。

答 教育長 学校は集団生活の場であり、集団における合意形成では、議論のうえ、多数決が必要となる場合が多くあります。

そこで、日頃から授業や日々の生活の中で議論をし、問題解決をする場面を意図的に設け、相手を敬いつつ、批判する力、そして、相手の批判に耐える力、また、相手の意見を認め、自分の意見を変更する力というもの育成し、民主的な意思決定、合意形成の方法を指導していきたいと考えます。

スクールカウンセラー

問 スクールカウンセラーとソーシャルワーカー両者の配置と運用について伺います。

答 子ども教育課長 スクールカウンセラーは、市内すべての小中学校に配置されており、中学校は月4日間、小学校はその半分程度で勤務しています。

なお、スクールソーシャルワーカーは、山武望洋中学校に週3日間の勤務で配置されており、派遣要請に応じて他校の支援にもあたっています。



公共施設の老朽化

問 成東老人福祉センターのマザーズホームおよび社会福祉協議会の事務所は施設の老朽化が著しく、雨漏りなども発生している状況です。特にマザーズホームは、子ども達の発達を指す居場所であり、今後、専門的な知見を取り入れながら、適した場所を検討する必要がありますと考えますが、市の見解を伺います。

答 市長 当該施設は、建築後50年以上が経過していることもあり、市内公共施設の中でも、早急に複合化や移転の検討が必要であると認識しており、関係部署に具体的な検討を指示しているところです。

ヤングケアラー

問 全国の小学6年生を対象に、国が実施したヤングケアラーのアンケートと同じ内容で、市内小中学生(小学4年生から中学3年生)に対し、本

市でも実態調査を行ったとのことですが、教育現場におられた教育長の考えを伺います。

答 教育長 ヤングケアラーは、大きな社会問題として認識しています。隠れたヤングケアラーの僅かな兆候を見逃さないという備えが必要であり、中でも、学校現場での気づきは重要なポイントとなります。また、多種多様な相談窓口を準備するとともに、その周知に努めていきます。



問 オンラインを活用した支援対策について伺います。

答 子ども教育課長 本市では、さまざまな相談窓口を設け、行政の各部門が連携して対応する体制を構築しており、さらには、市独自でチャットを活用した相談体制も備えています。今後、先進地の取組などを参考に、より一層の支援充実を図っていきます。

問 今後の支援対策について伺います。

答 保健福祉部長 ヤングケアラー支援は、本年3月に策定した「第4次山武地域福祉計画・地域福祉活動計画」において、横断的かつ包括的に取組を推進するものと位置づけられました。

ケアの対象となる家族等が、連携した介護、障害、経済的支援を適正に受けることができれば、御本人の負担軽減に繋がるものと考えます。



保健師の確保

問 高齢化社会への対応や手厚い子育て支援による移住定住の促進を進めるためには、さまざまな健康支援業務で活躍する保健師の存在が重要となります。千葉県では保健師等の確保を目的とした貸付制度があり、山武地域のほか、保健師不足が深刻な地域には、貸付額が加算されています。そこで、さらに市独自で貸付額を加算し、結婚や出産、子育て等で離職した看護師等をターゲットに、リスクリングによるキャリアアップ支援を行うことができれば、保健師確保の一助になると考えますが、市の見解を伺います。

答 保健福祉部長 千葉県保健師等修学資金貸付制度は、保健師、助産師、看護師または准看護師の養成施設に在学する方で、将来、県内または県が指定する地域で、保健師等の業務に従事しようとする方に対し、修学資金を貸し付ける

ことにより、修学を容易にし、県内での保健師等の確保を目的とした貸付制度です。

離職後、新たに保健師資格の取得を目指す場合は、1年から2年の養成校(全日制)に入学し、国家試験を受けることとなります。

保健師確保に向け、さまざまな観点から調査・分析し、制度化に向け、検討してまいります。

スクールカウンセラー

問 保護者や教職員からの相談を含む相談件数とその内容を伺います。

答 子ども教育課長 令和4年度は、心身の健康・保健に関する相談が333件、不登校に関する相談が255件、発達障害に関する相談が173件でした。なお、本市では、市独自の取組として、全校に「心の教室相談員」を配置しており、令和4年度の相談件数は、7486件でした。

問 チャットなどを利用したオンラインであれば、コミュニケーションを取れるという子ども達が多く存在するため、そのような相談環境を充実すべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 子ども教育課長 対面では相談しにくい、時間外に相談したいというような児童生徒のためにも、体制を構築し、相談しやすい環境づくりに努めてまいります。



県道・市道の整備

問 市道井之内線については、道路舗装の劣化（ひび割れ等）が多く、地元から舗装整備の要望もあると聞きますが、今後の整備予定を伺います。

答 建設環境部長 今年度、井之内津波避難施設（築山）への入口付近から約150メートルを舗装修繕します。この路線は、舗装面の劣化の進み具合など現場の状況を考慮したうえで、継続的に修繕工事を実施します。

問 市道307号線（雨坪地先の県道日向停車場極楽寺線から日向の森へ接続する道路）は舗装の劣化が多く見受けられ、かつ、道幅が狭い箇所もあるため、早急な舗装工事を望む声があります。その対応を伺います。

答 建設環境部長 昨年度、隣接者の協力を得て、立ち木等の調査を行いました。今後は、調査をもとに、引き続き、用地交渉を行います。

なお、当該道路の舗装剥離箇所の修繕は、今年度中の対応を予定しています。

問 道路沿いの除草作業について、その対応状況を伺います。

答 建設環境部長 県道については、所管する千葉県山武土木事務所において除草作業を実施していますが、近年では要望数の増加に加え、人件費や燃料費の高騰もあり、維持管理費の予算面で厳しい状況にあると聞いています。

市道を管理する本市においても、予算面の厳しさは同様であり、道路利用者からの通報やパトロールにより、主要道路や通学路を中心に、対応しているほか、奉仕活動として道路除草を実施していただいている地区等へ、資材支給等の支援を行っています。

作田川の水害対策工事



問 9月8日の台風13号接近に伴う大雨により、作田川上流部の河川の氾濫により、雨坪・木原・森地先の住宅が床上浸水しています。上流部の河川整備も早期の着工が望まれますが、浚渫工事の進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 作田川を管理する千葉県山武土木事務所を確認したところ、新殿内橋付近において、作田川に

堆積した土砂を撤去する河道掘削を継続的に実施していると聞いています。

問 源川雨坪地先の河川拡幅に向けた今後の予定を伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武土木事務所を確認したところ、現在、作田川本川改修を優先的に実施しているとのことです。

しかし、今回の台風13号接近の際、源川流域で溢水があったことから、今後、県に治水対策を要望していきます。

問 雨坪地先の調節池は堆積物が多く、調節池としての機能を果たしていないと感じますが、浚渫工事等、県へのさらなる要望について、市の見解を伺います。

答 市長 今回の台風において、当該調節池が十分に機能していなかったと認識しています。以前、熊谷知事が現地視察に来た際にも直接伝えましたが、再度、整備の要望を行い、併せて、作田川の合流地点の拡幅についても要望していきたいと考えます。

有害鳥獣被害対策

問 これまでに実施した有害鳥獣駆除の取組を伺います。

答 産業振興部長 以前は、山武北部猟友会の市内各支部捕獲隊において活動していましたが、令和3年度からは山武市有害鳥獣駆除隊を設置し、イノシシなどの獣類の捕獲および追い払い活動を

実施しています。

なお、令和4年度の捕獲実績は、イノシシ83頭、アライグマ245頭、ハクビシン45頭です。

問 有害鳥獣被害対策の今後の課題を伺います。

答 産業振興部長 現在、有害鳥獣駆除隊の登録者のうち、70歳以上が約7割を占めていることから、担い手確保が課題であり、この課題解決に向けては、農家の若い世代に対し、狩猟免許の取得を推進するなど、駆除隊として従事していただけるよう、啓発活動に努めたいと考えます。

そして、駆除隊による駆除に加え、集落単位で対策を実施する地区が増えることが望ましいと考えます。

問 県からの支援状況および近隣市町との連携状況を伺います。

答 産業振興部長 市では、県に對して、県事業によるイノシシの捕獲実施区域に山武市全域を含めるよう、昨年度、要望書を提出しました。

その結果、今年度から、山武市においても実施区域として捕獲が実施されています。

また、近隣市町とは、富里市鳥獣被害対策実施隊による山武市内一部区域のイノシシ捕獲を認め、駆除対策の強化を図る取組や、東金市をはじめとする隣接市町とは被害状況や捕獲実績等の情報を共有する等の協力連携に努めています。

台風13号接近に伴う大雨被害

9月8日に接近した台風13号に伴う記録的な豪雨により、市内各地で道路等が冠水し、床上浸水・床下浸水のほか、土砂崩れや倒木の被害も多数発生しました。

市議会では、当日、災害対策支援本部を設置し、各議員から報告される被害情報を収集および伝達する等、市が行う災害対策活動の支援に努めました。

被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。



被災者支援情報
被災者支援情報
被災者支援情報
被災者支援情報
被災者支援情報



道路冠水(和田)



消防署ボート救助(木原)

議員の寄附は禁止！ 有権者が求めることも禁止！

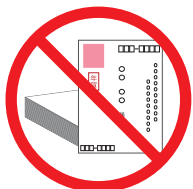
市議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。

地域の行事等へ議員を案内いただく際には、必要経費分としての会費を案内文へ明示してくださるようお願いします。

また、選挙区内の方に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつを出すことは、答礼のための自筆によるもの以外は禁止されています。

有権者から寄附を求めることも禁止されています。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



年賀状
(自筆の答礼は除く)



お中元・お歳暮



祭事への寄附や
差し入れ



結婚祝
(自ら出席する場合は除く)



葬式の花輪・供花



入学祝・卒業祝

令和5年

第4回定例会

11/22(水)	開会
11/29(水)	議案の上程 提案理由の説明等
11/30(木)	一般質問
12/1(金)	一般質問 一 一般質問 二 議案質疑 三 委員会付託等
12/4(月)	総務常任委員会
12/5(火)	文教厚生常任委員会
12/6(水)	経済建設常任委員会
12/11(月)	委員長報告 質疑、討論、採決 閉会

※この日程は予定であり、今後変更する可能性があります。

編集後記



T

2年前から始めた「編集委員が交替制で担当する編集後記」は、編集委員が一新した今回からも継続してお届けしていきます。

中学1年から習い始めた華道は、時折ブランクもありますが、現在も続けています。日常生活から離れ、静寂の中、花材と向き合い、はさみを入れる時は何年経っても緊張します。

議会だより発行前、原稿の校正作業をしている時の、各編集委員が原稿と向き合っている静寂な時間とよく似ています。

心を込めて議会だよりを作成しました。ぜひ、家族の皆さまと一緒に読んで、議会を身近に感じていただけると喜ばしい限りです。

議会だより編集委員会

委員長 玉置美津恵
副委員長 鈴木健太郎
委員 市川 陽子
渡邊 健一
渡邊 聡
池田 久和



※次回は、2月発行予定です。